

国語科授業づくりリーフレット



各教科等の目標達成のためには、小・中学校教諭が共に「釧路市が目指す授業」を日常的に実践し、義務教育9年間を通して、児童生徒が安心して授業に臨めるようにすることが大切です。国語科の授業づくりにおける小中連携の在り方について提案するため、国語科授業づくりリーフレットを発行します。

令和6年度釧路市標準学力検査結果より

- 小学6年生から中学2年生において、「**説明的な文章の内容を読み取る**」内容の**正答率が低い**。
- 特に小学6年生の「**文章全体の構成を捉えること**」、中学2年生の「**文章の構成や論理の展開について考えること**」の設問の**正答率が低い**。

「精査・解釈」の指導事項に、特に課題が見られる。

本グループの研究概要

小・中学校の国語科の課題である「説明的な文章の内容を読み取る」の内容に焦点を当て、「**説明的な文章における「精査・解釈（文章の構成や論理の展開について考える）」の指導のポイント**」を作成しました。ぜひ、教材研究や日常の授業改善の指針としてご活用ください。



- ◎説明的な文章の指導において子供たちに確かな「読む力」を付けるためには、「**構造と内容の把握**」、「**精査・解釈**」、「**考えの形成と共有**」という指導事項を踏まえることが大切です。
- ◎国語科は、同じような学習を繰り返し行い、その精度を高めていく「**螺旋構造**」になっていると言われます。この螺旋構造も視野に入れつつ、**教師が「どの段階で、何を重点的に扱うべきか」を念頭に置いて計画的に指導に当たる**ことが大切です。下記の「説明的な文章の系統表」を、ぜひ日々の実践にお役立てください。

土居正博「具体化・推測でつくる 小学校国語科明文化指導法」(明治図書)より

教科書（教育出版）の説明的な文章の系統表

	構造と内容の把握に重点を置く単元	精査・解釈に重点を置く単元	考えの形成・共有に重点を置く単元	「題材名」【重点指導事項】 主な指導内容
小1	「すずめのくらし」【ア】 文章のまとまりごとに写真や問いの文を手がかりに読む	「だれがたべたのでしょうか」【ウ】 問いと答えの文や写真との対応に気を付けて読む	「はたらくじどう車」【ウ】 大事な言葉を見つけて読む	「みぶりで つたえる」【オ】【カ】 自分のしたことと結び付けて読む
小2	「すみれと あり」【ア】 順序に気を付けて、つながりを考える	「ジャンプロケットをつくらう」【ア】【ウ】 説明の工夫を読んでたしかめる	「さげが大きくなるまで」【ウ】 順序や様子を表す言葉に気を付ける	
小3	「川をつなぐちえ」【ア】 文章と図や写真を結びつけて読む	「めだか」【ウ】 段落の要点をつかむ	「くらしと絵文字」【オ】 文章を読んで、考えたことをまとめる	
小4	「花を見つける手がかり」【ア】 結果と考察のつながりを捉える	「ウミガメの命をつなぐ」【ウ】 大事なことばや文に気を付けて要約する。	「くらしを便利にするために」【オ】 経験と結び付けて読む	
小5	「言葉と事実」【ウ】 事例と解説をもとに筆者の考えを読みとく	「まんがの方法」【オ】 絵と文章を対応させて読む	「世界遺産 白神山地からの提言」【オ】【カ】 根拠となる資料にもとづいて考えを深める	
小6	「雪は新しいエネルギー」【ア】【ウ】 要旨を捉え、文章と図表などを結び付けるなどして、論の進め方について考える		「ぼくの世界 君の世界」【オ】【カ】 筆者の論じ方の特徴を捉える	
中1	「自分の脳を知っていますか」【ア】 文章の中心的な部分や付加的な部分、事実と意見の関係を捉え、要旨を把握する	「森には魔法つかいがある」【エ】 文章の構成や展開、表現の仕方について考える	「子どもの権利」【エ】 反論を用いた文章の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む	「言葉がつなく世界遺産」【オ】 事実と意見の関係に注意して読み、筆者の考えを捉える
中2	「日本の花火の楽しみ」 「水の山 富士山」【エ】 主張と例示の関係を捉え、説明の仕方に着目して読み比べる	「紙の建築」【エ】 事例の役割や効果を確認、得られた情報を整理しながら読む	「ガイアの知性」【オ】 筆者の考え方について、自分の知識や経験と結び付け、考えをまとめる	「学ぶ力」【オ】 構成や表現に着目し、理解したことや考えたことを自分の知識や考えと関連付けて広げたり深めたりする
中3	「AIは哲学できるか」【イ】 文章を批判的に読み、筆者のものの方や考え方について自分の意見をもつ	「async-同期しないこと」 「問いかける言葉」【ウ】【エ】 構成や展開、表現の仕方を比べて読み、社会と他者との関わりについて考える	「青春の歌-無名性の光」【エ】【オ】 筆者の考えを読み取り、自分の生き方や社会との関わり方について考えを広げたり深めたりする	

※上記の指導事項の重点を確認しながら指導に当たるとともに、**児童生徒の実態に応じて、弾力的に運用していくことが大切です。**

(今回の調査結果のように「精査・解釈」の段階に課題があるならば、単元内で「精査・解釈」の指導も扱うなど)

～「読むこと」における「精査・解釈」の9年間の系統表～

「学習指導要領解説(小学校・中学校) 国語編(付録4)」より抜粋

	(小) 第1学年及び第2学年	(小) 第3学年及び第4学年	(小) 第5学年及び第6学年	(中) 第1学年	(中) 第2学年	(中) 第3学年
【精査・解釈】	ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選ぶこと。	ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。	ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。	ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。 エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。	イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。	イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。
					エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。	

「精査・解釈」の指導事項に重点を置いた「説明的な文章」の授業づくりのPOINT

小学6年

文章と資料をあわせて読み、筆者の考えをとらえよう

- 「アイスは暑いほどおいしい？」
- 「雪は新しいエネルギー」

主に「精査・解釈」に関連する重点指導事項【ウ】
目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする

中学2年

説明の仕方に着目して、文章を読み比べる

- 「日本の花火の楽しみ」
- 「水の山 富士山」

主に「精査・解釈」に関連する重点指導事項【エ】
観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える

小学6年生

「精査・解釈」の授業のPOINT！

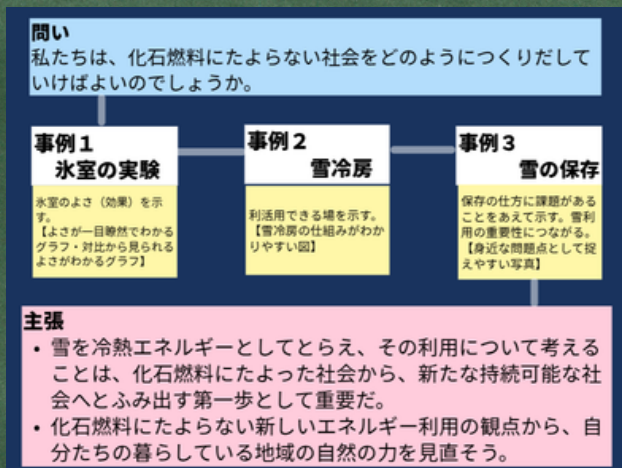
筆者が自分の伝えたいことを、読者にわかりやすく伝えるために「**どんな論の進め方をしているか**」を捉えさせます。

本単元では、事例の内容を読み取った後、以下のような観点で考え話し合うことで自ら筆者の論の進め方に気付けるようにします。

〈観点的例〉

- ・ 事例の順序
- ・ 問いと事例、主張との結び付き

筆者の論の進め方を表した図



論の進め方を捉えることで事例と主張との結び付きに迫ります。また、表やグラフと合わせて文章を読むことで、データを比較しやすく、内容の把握にもつながります。

小学6年生では、筆者の「**論の進め方について考える**」学習が位置付けられています。

筆者がどのようにして結論を導いたかの道筋をたどっていく活動が中心です。

中学2年生

「精査・解釈」の授業のPOINT！

「**文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える**」ためには、複数の文章を比較しながら読むことが効果的です。

本単元では、二つの文章を読み、説明の仕方の特徴を比較する観点を明確にして整理し、筆者の説明の意図を捉えさせます。

〈観点的例〉

- ・ 論理の展開
- ・ 表現の工夫 (簡潔な述べ方と詳細な述べ方、敬体と常体、表現技法、図表の挿入など)
- ・ 具体例のあげ方

説明の仕方の特徴を観点ごとに整理した図



文章を読んで探し出した説明の仕方の特徴を、観点を明確にして整理し、筆者が「なぜそのように説明したのか」という意図に迫ります。

中学2年生では、「**構成や論理の展開、表現の効果について考える**」学習が位置付けられています。

段落相互の結び付きや、筆者の論の進め方がもたらす効果を分析する活動が中心です。



指導事項の系統性を意識した学習が大切！！

小学校での「**論の進め方について考える**」学習が、中学校の「**構成や論理の展開、表現の効果について考える**」学習へと発展していきます。このような中学校での学びへつなげるためには、上記小学6年生の「**筆者がどのようにして結論を導いたかの道筋**」を正確にたどる学習が前提となります。

【引用文献・参考文献】

- ・ 文部科学省(2017)「学習指導要領解説小学校国語編」「学習指導要領解説中学校国語編」東洋館出版社
- ・ 土居正博(2025)「具体化・推測でつくる 小学校国語説明文指導法」明治図書